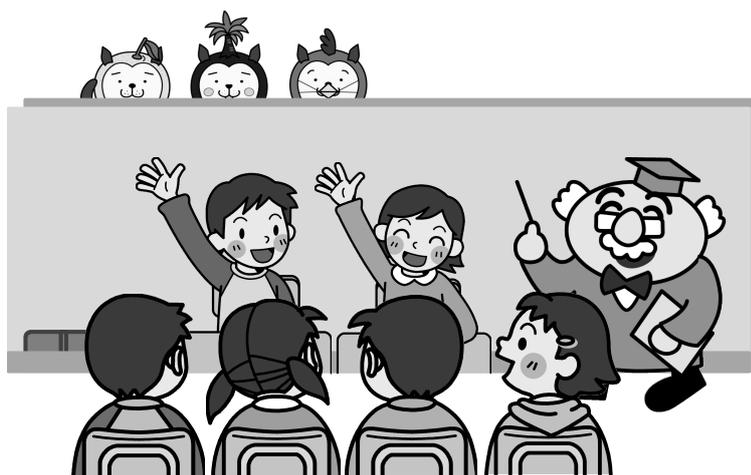


令和元年度(平成31年度) 全国学力・学習状況調査 【宮崎県の調査結果】



— 目次 —

1	結果の概要	p 1
2	小学校国語の結果概要	p 3
3	小学校算数の結果概要	p 4
4	中学校国語の結果概要	p 5
5	中学校数学の結果概要	p 6
6	中学校英語の結果概要	p 7
7	小学校の具体的な問題例	
	小学校国語	p 8
	小学校算数	p 10
8	中学校の具体的な問題例	
	中学校国語	p 12
	中学校数学	p 14
	中学校英語	p 16
9	児童生徒の生活習慣に関する概要	p 18

宮崎県教育庁義務教育課
義務教育・学力向上担当

宮崎県の調査結果

【1 結果の概要】

義務教育課

◆ 調査の目的

- 1 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 2 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 3 上記の取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◆ 調査の概要

- 1 調査実施日 平成31年4月18日(木)
- 2 対象学年 小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年
中学校第3学年、中等教育学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年
- 3 調査対象 小学校：235校(市町村立小学校233校、特別支援学校小学部2校)
中学校：130校(市町村立中学校124校、県立学校3校、特別支援学校中学部3校)

※ 国立・私立学校も参加しているが、示しているのは、県内の公立小・中学校、特別支援学校の結果のみである。

◆ 宮崎県の公立小・中学校の学力調査結果の概要

1 平均正答数

○ 小学校第6学年

年度	教科 〔問題数〕	国語 〔14問〕	算数 〔14問〕	合計 〔28問〕
H31	宮崎	9.0	9.0	18.0
	全国	8.9	9.3	18.2
	全国との差	0.1	-0.3	-0.2

○ 中学校第3学年

年度	教科 〔問題数〕	国語 〔10問〕	数学 〔16問〕	英語 〔21問〕	合計 〔47問〕
H31	宮崎	7.1	9.5	11.5	28.1
	全国	7.3	9.6	11.8	28.7
	全国との差	-0.2	-0.1	-0.3	-0.6

平成30年度まで「A問題：主として「知識」に関する問題」、「B問題：主として「活用」に関する問題」として出題されていたが、平成31年度より「知識」と「活用」を一体的に問う調査問題となった。

2 平均正答率(都道府県別の平均正答率は、文部科学省が整数値で公表)

○ 小学校第6学年

年度	教科	国語	算数		合計	合計 100%換算
H31	宮崎	64	64		128	64.0
	全国	63.8	66.6		130.4	65.2

○ 中学校第3学年

年度	教科	国語	数学	英語	合計	合計 100%換算
H31	宮崎	71	59	55	185	61.7
	全国	72.8	59.8	56.0	188.6	62.9

◆ 宮崎県の結果の概要

【小学校】

〈県全体〉 平均正答数の全国との差を教科別に見ると、国語については、全国平均をやや上回り、算数については、全国平均をやや下回っている。

【中学校】

〈県全体〉 平均正答数の全国との差を教科別に見ると、国語、数学、英語の3教科とも、全国平均をやや下回っている。

※ 過年度の調査結果については、「宮崎県教育研修センター」のトップページにある、「調査・研究」の「全国学力・学習状況調査」を参照ください。

※ 調査結果は学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であります。
「平成31年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領」より

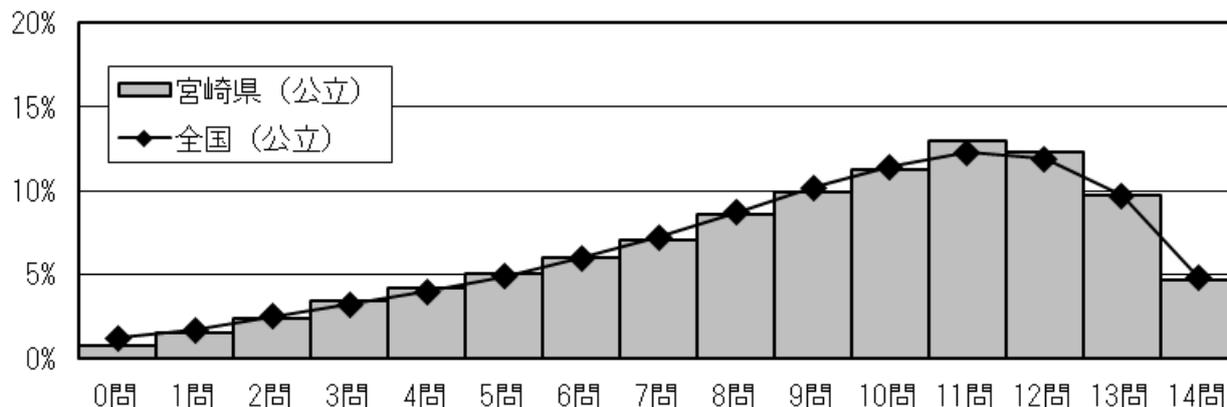
宮崎県の調査結果

【2 小学校国語の結果概要】

義務教育課

◆ 宮崎県全体の正答数分布状況（公立）

小学校国語（14問）



※棒グラフが宮崎県の正答数分布、折れ線グラフが全国の正答数分布（横軸：正答数、縦軸：児童の割合）

◆ 学習指導要領の領域・問題形式ごとの平均正答率

※ 太字が宮崎県の平均正答率、（ ）の中は、全国の平均正答率、下段は全国との差

領域	国語
話すこと 聞くこと	72.2 (72.3) -0.1
書くこと	53.6 (54.5) -0.9
読むこと	81.2 (81.7) -0.5
言語事項	55.5 (53.5) +2.0

問題形式	国語
選択式	73.9 (75.1) -1.2
短答式	51.0 (48.7) +2.3
記述式	59.0 (57.6) +1.4

◆ 小学校国語の設問別結果概要（全国平均との比較）

【話すこと・聞くこと】

- (3三) 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる問題
- (3二) 目的に応じて質問を工夫する問題

【書くこと】

- (1三) 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く問題
- (1一) 図表やグラフなどを用いた目的を捉え、適切なものを選択する問題

【読むこと】

- (2二) 目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読み、読むページとして適切なものを選択する問題
- (2一) 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを的確にしなが読み、その理由として適切なものを選択する問題

【言語事項】

- (1四) 文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く問題
- (1四) 文の中で漢字を使う問題

※ ○は全国と比べよくできているもの、●は全国と比べ課題と考えられるもの

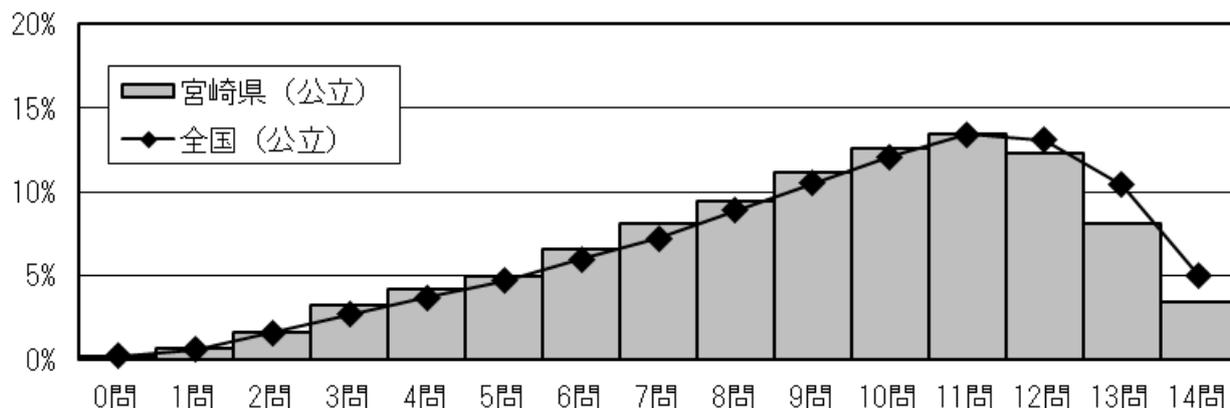
宮崎県の調査結果

【3 小学校算数の結果概要】

義務教育課

◆ 宮崎県全体の正答数分布状況(公立)

小学校算数(14問)



※ 棒グラフが宮崎県の正答数分布、折れ線グラフが全国の正答数分布(横軸:正答数、縦軸:児童の割合)

◆ 学習指導要領の領域・問題形式ごとの平均正答率の推計値

※ 太字が宮崎県の平均正答率、()の中は、全国の平均正答率、下段は全国との差

領域	算数
数と計算	60.9 (63.2) -2.3
量と測定	49.2 (52.9) -3.7
図形	76.0 (76.7) -0.7
数量関係	65.4 (68.3) -2.9

問題形式	算数
選択式	74.7 (75.7) -1.0
短答式	70.2 (72.8) -2.6
記述式	44.3 (47.4) -3.1

◆ 小学校算数の設問別結果概要(全国平均との比較)

【数と計算】

- 3 (3) 示された計算の仕方を解釈し、かける数やわる数を選び、計算しやすい式にして計算する問題
- 2 (4) 加法と乗法の混合した整数と小数の計算をする問題
- 4 (2) 示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式する問題

【量と測定】

- 2 (3) 資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述する問題

【図形】

- 1 (1) 長方形を直線で切り、図形の中から台形を選ぶ問題
- 1 (2) 2つの合同な台形をずらしたり、回したり、裏返したりして、他の図形をつくり、その図形を選ぶ問題

【数量関係】

- 2 (2) 棒グラフから、水の使用量について、何倍か読み取る問題
- 2 (3) 資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述する問題

※ ○は全国と比べできているもの、●は全国と比べ課題と考えられるもの

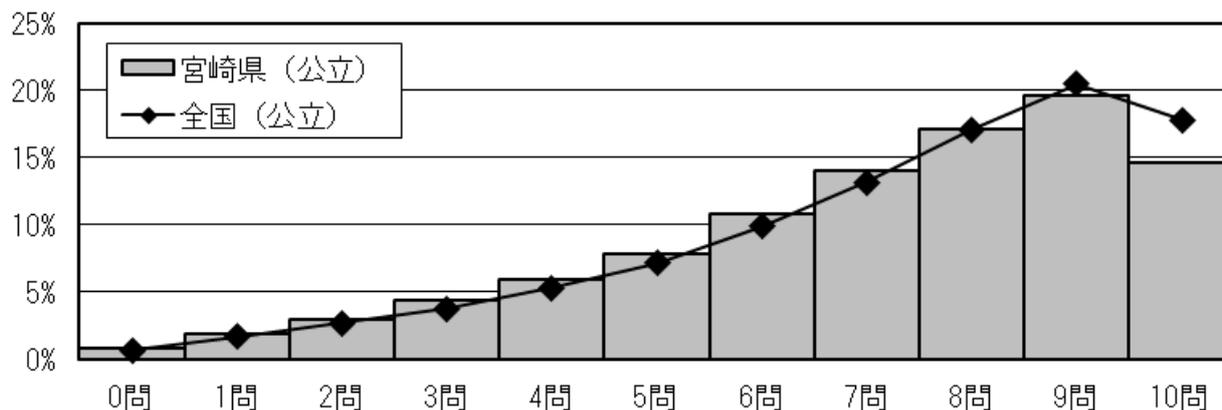
宮崎県の調査結果

【4 中学校国語の結果概要】

義務教育課

◆ 宮崎県全体の正答数分布状況（公立）

中学校国語（10問）



※棒グラフが宮崎県の正答数分布、折れ線グラフが全国の正答数分布（横軸：正答数、縦軸：生徒の割合）

◆ 学習指導要領の領域・問題形式ごとの平均正答率

※ 太字が宮崎県の平均正答率、（ ）の中は、全国の平均正答率、下段は全国との差

領域	国語
話すこと 聞くこと	68.2 (70.2)
	-2.0
書くこと	81.5 (82.6)
	-1.1
読むこと	70.8 (72.2)
	-1.4
言語事項	63.2 (67.7)
	-4.5

問題形式	国語
選択式	72.0 (73.6)
	-1.6
短答式	50.5 (56.8)
	-6.3
記述式	74.7 (76.5)
	-1.8

◆ 中学校国語の設問別結果概要（全国平均との比較）

【話すこと・聞くこと】

- (2三) 話合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていないうこと」について自分の考えを書く問題

【書くこと】

- (3二) 広報誌の一部にある情報を用いて、意見文の下書きに「魅力」の具体例を書き加える問題

【読むこと】

- (1三) 「みんなの短歌」に掲載されている短歌の中から一首を選び、感じたことや考えたことを書く問題
- (1二) 「海外に広がる弁当の魅力」で述べられている、弁当の魅力として適切なものを選択する問題

【言語事項】

- (1四) 「声の広場」への投稿を封筒で郵送するために、投稿先の名前と住所を書く問題

○ 無解答の児童は全国平均よりもやや少ない。

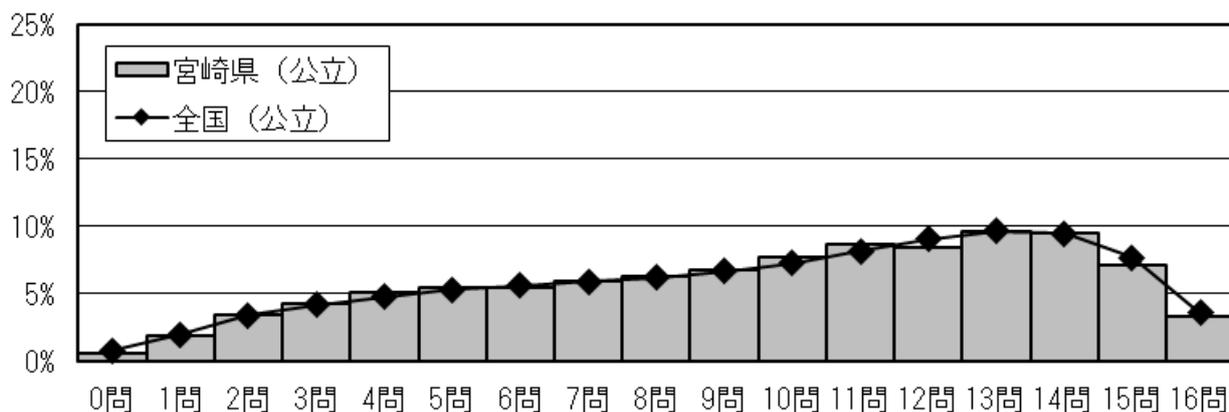
※ ○は全国と比べよくできているもの、●は全国と比べ課題と考えられるもの

宮崎県の調査結果

【5 中学校数学の結果概要】

義務教育課

◆ 宮崎県全体の正答数分布状況（公立）
中学校数学（16問）



※ 棒グラフが宮崎県の正答数分布、折れ線グラフが全国の正答数分布（横軸：正答数、縦軸：児童の割合）

◆ 学習指導要領の領域・問題形式ごとの平均正答率の推計値

※ 太字が宮崎県の平均正答率、()の中は、全国の平均正答率、下段は全国との差

領域	数学
数と式	63.2 (63.8) -0.6
図形	70.0 (72.4) -2.4
関数	41.0 (40.8) +0.2
資料の活用	57.5 (56.3) +1.2

問題形式	数学
選択式	60.0 (60.3) -0.3
短答式	66.8 (66.6) +0.2
記述式	45.3 (47.1) -1.8

◆ 中学校数学の設問別結果概要（全国平均との比較）

【数と式】

- 1 数の集合と四則計算の可能性について考察する問題
- 9 (1) 与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉える問題
- 9 (3) 統一的・発展的に考察し、得られた数学的な結果を事象に即して解釈する問題

【図形】

- 3 平行移動の意味を理解し、図形移動の特徴を捉える問題
- 7 (3) 結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明する問題

【関数】

- 4 反比例の表から、 x と y の関係を式で表す問題
- 6 (2) 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する問題

【資料の活用】

- 8 (1) 資料を整理した表から最頻値を読み取る問題
- 8 (3) 問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断する問題

※ ○は全国と比べできているもの、●は全国と比べ課題と考えられるもの

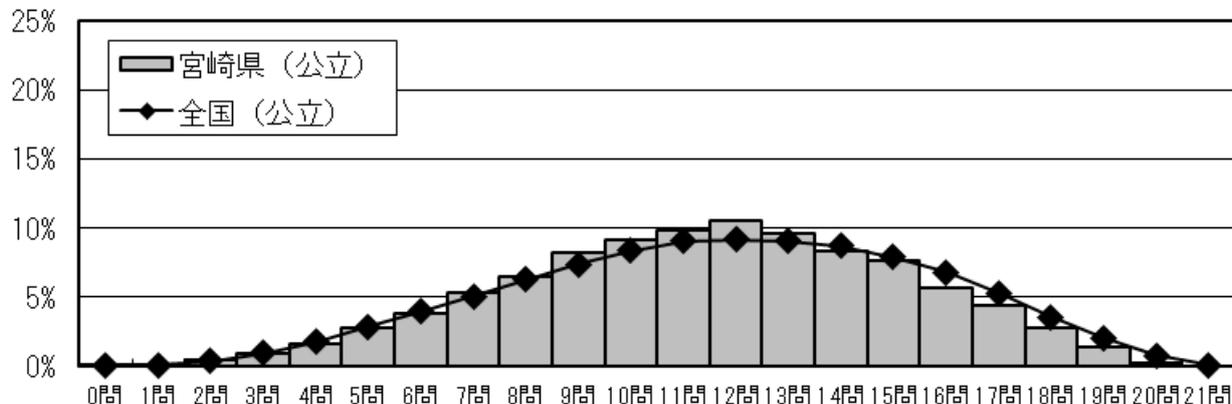
宮崎県の調査結果

【6 中学校英語の結果概要】

義務教育課

◆ 宮崎県全体の正答数分布状況(公立)

中学校英語(21問)



※ 棒グラフが宮崎県の正答数分布、折れ線グラフが全国の正答数分布(横軸:正答数、縦軸:児童の割合)

◆ 学習指導要領の領域・問題形式ごとの平均正答率の推計値

※ 太字が宮崎県の平均正答率、()の中は、全国の平均正答率、下段は全国との差

領域	英語
聞くこと	66.3 (67.9) ----- -1.6
読むこと	55.8 (55.6) ----- +0.2
書くこと	43.5 (45.8) ----- -2.3

問題形式	英語
選択式	71.1 (71.4) ----- -0.3
短答式	41.2 (45.2) ----- -4.0
記述式	5.5 (6.8) ----- -1.3

◆ 中学校英語の設問別結果概要(全国平均との比較)

【聞くこと】

- [1-(3)] 外国人の先生と女子生徒の会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する問題
- [1-(4)] 家での会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する問題

【読むこと】

- [6] 発表活動のためにまとめられた100円ショップについての文章を読んで、話の流れを示すスライドとして最も適切なものを選択する問題
- [5-(2)] ある状況を描写する英文を読んで、その内容を最も適切に表している絵を選択する問題

【書くこと】

- [9-(2)①] 与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりするなどして、会話が成り立つように英文を書く問題
- [9-(3)③] 与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く問題
- [9-(1)①] 文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する問題

○ 全問題において、無回答率は全国平均と同等か低い。

※ ○は全国と比べよくできているもの、●は全国と比べ課題と考えられるもの

○ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかく読むことができるかどうかについては課題がある。

2 一 (1) 「読む能力」

【資料】食べ物保存について書かれた本のページ

食べ物保存する

◆ **食べ物は生命の源**

生き物は、食べ物がなければ生きていくことができません。食べ物を安定して確保することは、生きる上で欠かせないことです。

例えば、リスは秋になるとドングリを土にうめ、食料をたくわえます。クマはたくさん食べ物を食べ、体に栄養をたくわえて冬眠に入ります。動物たちは、このようにして生きぬいているのです。

わたしたち人間は、食べ物を保存する技術がなかったころは、いつでもおなかを満たすことができるというわけではありませんでした。季節や天候などにより、農作物や肉、魚などが手に入らないことがあったからです。また、運ぶのが大変な食べ物が手に入ったとしても、そのままにしておくと、くさって食べられなくなってしまふこともありました。そのため、人々は昔から様々な方法で食べ物の保存を試みてきました。失敗をくり返しながらいよいよ保存方法を獲得し、次の世代へつないできたのです。

◆ **保存のふしぎ**

食べ物がかさる主な原因は、食べ物をかさる細菌が増えることです。その細菌は食べ物の水分を利用して増えます。そのため、水分が少なくなれば細菌は増えにくくなり、食べ物はくさりにくくなります。

では、水分を少なくするにはどのようにしたらよいのでしょうか。例えば、塩や砂糖を使うという方法があります。塩や砂糖には水分を吸い出す力があるため、塩や砂糖を使ってつけることで水分を少なくすることができるのです。また、かんそうさせるという方法もあります。日光や風に当てて干すことで、水分を蒸発させることができます。

これらの方法を使った保存食には次のようなものがあります。

塩を使う

- ・山菜の塩づけ
- ・豚肉の塩づけ
- ・魚の塩づけ

砂糖を使う

- ・菓物の砂糖づけ
- ・ジャム

かんそうさせる

- ・切り干し大根
- ・かんぴょう
- ・こんぶ

食べ物保存について

調べようと思っただけ

春休みに、祖母から梅干しをもらったが、それが十年前に作られたものだと知りおどろいた。十年もたったのになぜ食べられるのかと聞くも、塩づけにしたり干したりしているからだと聞いてさうだ。昔の人は、くさって食べ物を保存してきたのだと、祖母は教えてくれた。

疑問に思っただけ

① なぜ食べ物を塩づけにしたり干したりすると保存できるのか。

② なぜ昔の人は、食べ物を保存する方法を考えなければならなかったのか。

調べて分かったこと

① 食べ物を塩づけにしたり干したりすると保存できる理由は、

理由は、

ア

イ

宮原さんの字級では、身近な食べ物について疑問に思っただけを調べ、友達と紹介し合うことにしました。次は、宮原さんの「調べよう」を参考に、宮原さんが選んだ【資料】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

「ア」の答えは、

「イ」の答えは、

その内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 水分が多くなり、食べ物がくさりやすくなるから。

2 細菌が増え、水分を蒸発させることができるから。

3 水分が少なくなり、細菌が増えにくくなるから。

4 細菌が減り、水分を増やすことができるから。

■ 正答例及び誤答の視点

四	1	宮崎	78.1%	無答率	0.7%
		全国	80.7%		1.4%

● **正答例**
3

● **誤答の視点**
資料の「◆保存のふしぎ」について、記述してある食べ物の保存に関わる水分と細菌との関係を十分に捉えることができなかつたと考えられる。

■ 学習指導にあたって

自分の知識や経験、考えなど
と関係付けながら読み、必要な
情報を取捨選択したり、整理し
たり、再構築したりして、理解
したことをまとめることが大切
である。



○ 目的に応じて、質問を工夫することができるかどうかについては課題がある。

3 二 「言語についての知識・理解・技能」

■ 正答例及び誤答例

四	1	宮崎	30.5%	無答率	3.5%
		全国	35.6%		4.9%

● **正答例**
3

● **誤答の視点**
「他に、どのような思いや考えをもって、五十年間仕事を続けてきたのですか。」という質問に答えることが難しいと感じている大谷さんの状況を捉えることができなかつたと考えられる。

■ 学習指導にあたって

日常の授業において、「質問の仕方」を
技能として学ぶだけでなく、「何のため
に、どのような情報を聞き出したいのか」
といった目的を明確にしてインタビューを
したり、児童の「知りたい」という思いを
大切にしたりしながら単元計画を作成して
いくことが大切である。



岸さん
そのような思いをもっていたんですね。大谷さんは、他に、どのような思いや考えをもって、五十年間仕事を続けてきたのですか。

大谷さん
思いや考えですか。なかなか難しい質問ですね。

岸さん
オムません。では、五十年間仕事を続けてきた中で大切にしていたことや心構えはありますか。

二「インタビューの様子」の
で、岸さんは、
部のようによくふうして質問を
しています。そのくふうとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その
番号を書きましょう。

1 相手の思いをさらに引き出すために、相手がり返し発言した言葉を用いながら質問をしている。

2 相手に質問をする理由を理解してもらえらるよう、インタビューの目的を伝えながら質問をしている。

3 相手が答えやすいように、自分が知りたいことについて言葉をかえてもう一度質問をしている。

4 相手の話の中に分らない言葉があったため、その言葉の意味を確かめる質問をしている。

【小学校算数】

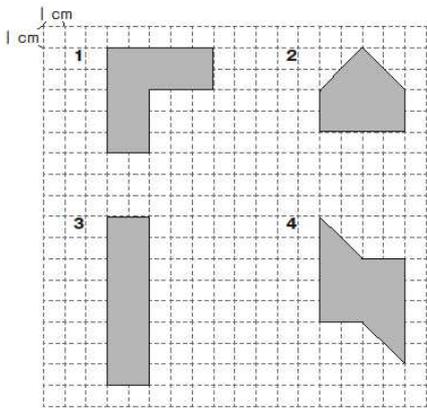
● 図形の性質や構成要素に着目し、図形をずらしたり、回したり、裏返したりすることで、ほかの図形を構成することについて課題がある。

■ 1 (2) 数量や図形についての技能

(2) ちひろさんは、次のように、2つの合同な台形をつくりました。



上の2つの合同な台形を、ずらしたり、回したり、裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせ、いろいろな形をつくります。
どのような形をつくりことができますか。
下の1から4までの中からすべて選んで、その番号を書きましょう。



■ 正答 1、3、4 と解答しているもの

1	正答率	無答率	● 分析結果と課題 図形の構成や辺の長さに着目することができていないことが考えられる。
(2) 宮崎	56.8%	0.5%	
全国	60.3%	0.6%	

■ 学習指導に当たって

・ 図形の性質や構成要素に着目して、基本的な平面図形を組み合わせて構成した図形を考察することができるようにする。

- 色板など具体物を操作しながら図形を構成したり、分解したりして、図形についての見方や感覚を豊かにすることが重要である。
- 指導に当たっては、本設問を用いて、示された四つの図形に当てはめるなどして、図形の中に、二つの合同な台形に分けることができる線を見いだすことができるようにすることが大切である。
- 実際に2枚の合同な台形を用いて、ずらしたり、回したり、裏返したりすることで示された四つ図形ができるかどうかを確かめることも大切である。

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査 報告書 小学校算数 P25より

● 加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることについて課題がある。

■ 2 (4) 数量や図形についての技能

(4) さらに、かいとさんは、自分が家で水をどのくらい使っているのかが気になる。洗顔と歯みがきで使う水の量を求めるために、下の式を考えました。

【かいとさんが考えた式】
 $6 + 0.5 \times 2 = \text{㊦}$



【かいとさんが考えた式】の、㊦に入る数を書きましょう。

■ 正答 7

2	正答率	無答率	● 分析結果と課題 乗法を先に計算せず、 $6+0.5$ から計算していると考えられる。
(4) 宮崎	56.7%	1.0%	
全国	60.1%	1.0%	

■ 学習指導に当たって

・ 計算の順序についてのきまりを確実に理解できるようにする。

式の左から順に計算した場合	正しく計算した場合
$6 + 0.5 = 6.5$ 洗顔と歯みがきをそれぞれ1回	$0.5 \times 2 = 1$ 歯みがきを2回
↓	↓
$6.5 \times 2 = 13$ 洗顔と歯みがきをそれぞれ2回	$6 + 1 = 7$ 洗顔を1回と歯みがきを2回

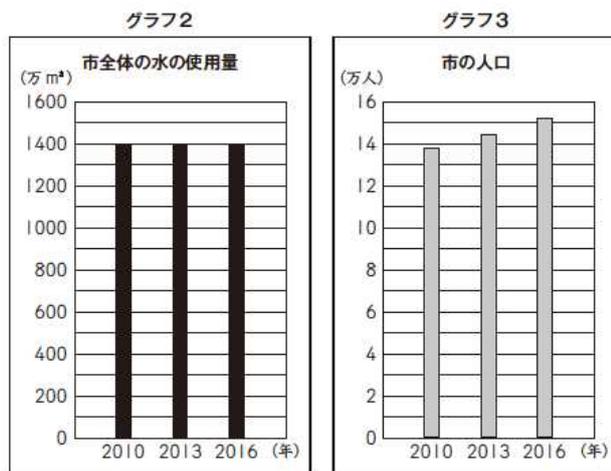
□ 単に暗記するのではなく、具体的な場面と関連付けながら比較する活動が考えられる。計算の順序を誤ると式の意味が異なることに気付くことができるようにすることが大切である。

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査 報告書 小学校算数 P40より

- 二つの棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取り、それらを関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、判断の理由を言葉や数を用いて記述することについて課題がある。

■ 2 (3) 数学的な考え方

- (3) 次に、かいとさんたちは、市全体の水の使用量には、人口が関係しているのではないかと思い、グラフ2とグラフ3を見つけ、2つのグラフをもとに考えています。



かいと: わたし、私たちは、水を大切に使っているといえるのでしょうか。

ゆうか: 市全体の水の使用量はわかりますが、1人で水をどのくらい使っているのはわかりません。

あやの: グラフ2とグラフ3を見ることで、1人当たりの水の使用量についてもわかります。

あやのさんが言うように、グラフ2とグラフ3を見ることで、2010年から2016年までの1人当たりの水の使用量についてわかることがあります。

2010年から2016年までの、3年ごとの1人当たりの水の使用量について、どのようなことがわかりますか。

下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだだけを、グラフ2とグラフ3からわかることをもとに、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 1人当たりの水の使用量は、減っている。
- 2 1人当たりの水の使用量は、変わらない。
- 3 1人当たりの水の使用量は、増えている。
- 4 1人当たりの水の使用量は、増えたり減ったりしている。

■ 正答 1 (わけ) 省略

2		正答率	無答率
(3)	宮崎	44.3%	1.8%
	全国	52.1%	2.0%

- 分析結果と課題
市全体の水の使用量が変わらないことと、市の人口が増えていることを関連付けることができず、市全体の水の使用量が変わらないことから、一人当たりの水の使用量も変わらないと判断していると考えられる。

■ 学習指導に当たって

- ・ 複数の資料の特徴や傾向を関連付け、一つの資料からは判断することができない事柄について判断することができるようにする。

- 目的に応じて、必要な資料を収集し、複数の資料の特徴や傾向かを関連付け、一つの資料から判断することができない事柄について判断することができるようにすることが重要である。
- 指導に当たっては、本設問を用いて、一人当たりの水の使用量はどのように求めることができるのかを確認するなどして、市全体との水の使用量と市の人口について、それぞれの資料の特徴や傾向を関連付けて考察する必要があることに気付くことができるようにすることが大切である。
- ある量の水を2人で分けるときよりも3人で分けるときの方が一人分の水の量は減るといった簡単な場合を基に考えるなどして、市全体の水の使用量は変わらないことと市の人口は増えていることを関連付け、一人当たりの水の使用量が減っていると判断することができるようにすることが大切である。

宮崎県の調査結果

【8 中学校の具体的な問題例】

義務教育課

【中学校国語】

○ 「文章に表れているものの見方や考え方」について、自分の考えをもつ問題は良好である。

1 「短歌の中から一首を選び、感じたことや考えたことを書く」

■ 正答例

「新しい」と「背筋伸ばして始まりを待つ」という表現から、新年度の最初の授業の始まりを、期待と不安とが混ざった気持ちで待っている様子が想像できます。新年度を迎えると、皆気持ちを引き締めたり、決意を新たにしたりするものです。



5月に実施した「学力向上連絡協議会」で説明した内容のとおりです。ホームページにアップしている資料の1部を下に示しています。「ポイント」として6点示していますが、特にポイント⑤についてアウトプットする力を高めていくことが必要です。

PISA2018の調査結果分析によると、「自由記述形式の問題において、自分の考えを根拠を示して説明することに、引き続き課題があり、誤答には、自分の考えを他者に伝えるように記述できず、問題文からの語句の引用のみで説明が不十分な解答となるなどの傾向が見られる。」ことが明らかになっております。

本調査においては、宮崎の子どもたちの正答率が全国平均よりもやや高くなっています。このことは、先生方が授業においてアウトプットする場面を多く設定されている効果であると言えます。

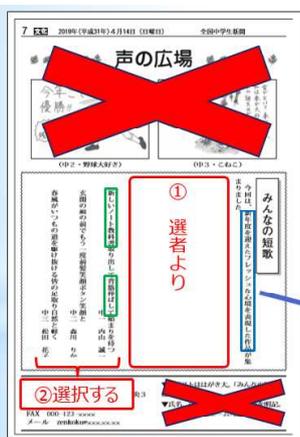
今後とも引き続き、自分の考えを根拠を示して説明する場面を意図的に単元のまとまりの中で組み込まれることを期待しています。

1	正答率	無答率
宮崎	91.4%	1.1%
全国	91.2%	1.7%

● 誤答例

「背筋伸ばして」という表現から、緊張しながら先生を待っている様子が想像できます。よい短歌だと思います。

想像するところまでは到達しているが、想像した内容について「よい」と表現しているだけで、自分が感じたことや考えたことを具体的に考えていません。



ポイント 問いから条件を整理したうえで答える。

- ① 【選者より】を参考すること
 - 文の型の把握
- ② 内山さん、森川さん、松田さんの短歌から1つ選ぶこと
 - いちばん伝えやすいものを選択
- ③ 短歌の中の言葉を取り上げること
 - 例 新しいノート 背筋伸ばして
- ④ 想像できる情景や心情を書くこと
 - 情景 = 心を通して味わわれる景色
 - 心情 = 心の中の思い
 - フレッシュな心境を表現 (期待や喜び)
- ⑤ 感じたことや考えたことを具体的に書くこと
 - 具体的に = はっきりわかるように
- ⑥ 書き直したいときには消しゴムで消さなくてもよいこと

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

【指導の実態】

解答用紙には、
① 丁寧に
② 間違ったら消しゴムで消して書きなさい。



児童生徒が「臨機応変に対応することができない」と想定するのであれば……

【これからの指導】

推敲をして、文章を修正する場合には、二本線で消したり、行間に書き加えたりしてもよい場合があります。条件を確認して効率的に解くことが大切です。

国語科で推敲する場合には、消しゴムを使わずに、二重線で消したり、文字を書き加えたりします。日常の授業で取り扱う指導方法がそのまま調査で生かされている点は注目すべきところです。



● 封筒の書き方を理解して書くなどの基本的な知識の習得に課題がある。

1 四 「投稿を封筒で郵送するために、投稿先の名前と住所を書く」

■ 正答例



1		正答率	無答率
四	宮崎	50.5%	6.5%
	全国	56.8%	5.6%

● 誤答例
 投稿先の名前と住所の正しい内容が書かれていない。
 楷書を使って正確に書かれていない。
 縦書きで書かれていない。

※ 正答にはなっているものの、文字の大きさや配字が適切とは言えないものが多く見られる傾向にある。

※ 平成24年度に同様の問い（葉書の書き方）が出題されており、正答率は74.2%と今回よりも17.4ポイント高くなっている。

中学校では、日常生活から社会生活への広がりが出てくることが国語科の特徴の一つといえます。さらに、高等学校では、生涯にわたる社会生活にまで広がっていきます。

日常生活において、手紙（葉書や年賀状を含む）を書く機会が少なくなっていますが、現代社会においては、書類を郵送する機会は引き続き多く存在します。

この数年間で宛名書きの正答率が大きく落ち込んだ事実からも、今後「書写」を扱う際には、「生活に活かすこと」を意識する必要があります。



生活につながる書写の能力を身に付けるための方策は？



はがきの表書きの指導においては、宛名（敬称を含む）と宛先、自分の名前と住所を書く位置について正しく理解させる必要があります。その上で、紙面と字数との関係を考えて文字の大きさや配列を判断するとともに、字形を整えて丁寧に書く指導が大切です。

社会生活において、お礼の手紙などを手書きで作成することが多いことを踏まえて、直筆で書くことの効果や注意点を考えさせることが重要です。下の指導計画のように、文章を書く指導と書写とをつなげて計画することも有効です。

□ 書くこと「依頼状やお礼状を書こう」の指導計画例

時	主な学習内容及び学習活動	時間	評価計画
第1時	1 手紙の書き方、メール作成の仕方について大体をつかむ。 2 職場体験学習の事業所に依頼すべき情報をワークシートに整理する。	1時間	○ 手紙の基本的な形式について理解することができる。 ○ 依頼文に必要な情報を取り出し、整理することができる。
第2時	3 相手を意識して、職場体験学習の事業所へ依頼文を書く。	1時間	○ 適切な言葉遣いや表現の方法を理解することができる。
第3時	4 依頼文を推敲する。 5 宛名の書き方を確認し、依頼文を清書する。	1時間	○ 手紙の基本的な形式、適切な言葉遣いや表記の仕方を踏まえ、文章を書き改め、清書することができる。



授業においては、手紙・葉書の書き方の指導とともに、その歴史に触れたり、形式に込められた相手への敬意などについても意識させたりしながら指導することが大切です。その際、実際に手紙・葉書を投函することを含めた学習活動を設定することも効果的です。

なお、手紙・葉書の歴史については、左のような郵便局のウェブサイト等が活用できます。



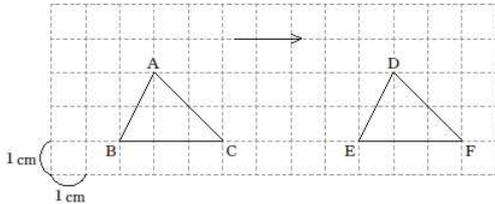
郵便の豆知識ウェブサイト <https://www.schoolpost.jp/lesson/knowledge01.html>

【中学校数学】

- 図形の性質を考察する場面において、次のことができるかどうかについて課題がある。
 - ・ 図形の移動の特徴を的確に捉えること
 - ・ 平行移動の意味を理解していること

■ ③ 数量や図形などについての知識・理解

③ 下の図で、 $\triangle DEF$ は、 $\triangle ABC$ を矢印の示す方向に平行移動したものです。 $\triangle DEF$ は、 $\triangle ABC$ を矢印の示す方向に何cm平行移動したのですか。その移動の距離を求めなさい。



■ 正答 7

③	正答率	無答率
宮崎	80.9%	0.5%
全国	83.6%	0.7%

- 分析結果と課題
移動の前・後の図形の対応する点を正しく捉えることができていない。

■ 学習指導に当たって

- ・ 移動前後の図形を比較して2つの図形の関係を読み取ることができるようにする。

□ 図形を構成している点に対応する点を確認し、線分の長さに着目し、それらがすべて等しいことから、対応する点が一定の距離だけ移動していることを確認する場面を設定することが考えられる。

- ・ 日常の事象の特徴を、図形の移動を用いて的確に捉えることができるようにする。

□ 万華鏡の模様を観察することを通して、同じような模様がいくつも並んでいることから、万華鏡の中をのぞいたときに見られる模様が合同な図形を敷き詰めてできていると捉えるなどして、数学の舞台にのせて考察しようとするのが大切である。

(参考) 平成29年度【中学校】授業アイデア例 P9～P10

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査 報告書 中学校数学 P26より

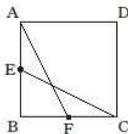
- 結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができるかどうか。

■ ⑦ (3) 数学的な見方や考え方

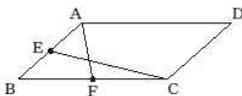
(3) 真由さんは、これまでに調べたことを、次のようにまとめました。

まとめ

◎ 「正方形ABCDの辺ABの中点をE、辺BCの中点をFとすると、 $AF = CE$ になる。」ということが成り立つ。



◎ 「平行四辺形ABCDの辺ABの中点をE、辺BCの中点をFとすると、 $AF = CE$ になる。」ということが成り立たない。



上のまとめから、「四角形ABCDが正方形ならば、 $AF = CE$ になる。」ということが成り立つことと、「四角形ABCDが平行四辺形ならば、 $AF = CE$ になる。」ということが成り立たないことがわかります。

正方形でない四角形で、 $AF = CE$ になる四角形ABCDを考えます。四角形ABCDがどんな四角形ならば、 $AF = CE$ になりますか。「～ならば、……になる。」という形で書きなさい。

■ 正答 省略

⑦	正答率	無答率	● 分析結果と課題 結論 $AF = CE$ を、前提として考えている誤答例があった。
(3) 宮崎	49.7%	17.0%	
全国	53.3%	17.6%	

■ 学習指導に当たって

- ・ 結論が成り立つための前提を考え、見いだした事柄を数学的に表現できるようにする。

□ 与えられた事柄や予想した事柄が成り立つかどうかを、具体例をあげて調べる活動を通して、結論が成り立つ前提を考え、見いだした事柄を数学的に表現できるように指導することが大切である。

□ 正方形以外の四角形について例をいくつかあげ、 $\triangle ABF \cong \triangle CBE$ であれば、 $AF = CE$ 成り立つことを確認する場面を設定することが考えられる。

(参考) H31【中学校】授業アイデア例 P9～P10

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査 報告書 小学校国語 P43より

● 与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができるかどうか。

■ 9 (1) 数学的な見方や考え方

9 拓斗さんと若菜さんは、連続する3つの奇数の和がどんな数になるかを調べています。

1, 3, 5のとき $1 + 3 + 5 = 9 = 3 \times 3$
 5, 7, 9のとき $5 + 7 + 9 = 21 = 3 \times 7$
 13, 15, 17のとき $13 + 15 + 17 = 45 = 3 \times 15$

拓斗さんは、これらの結果から次のことを予想しました。

予想 1

連続する3つの奇数の和は、中央の奇数の3倍になる。

上の予想1がいつでも成り立つことは、次のように説明できます。

説明 1

n を整数とすると、連続する3つの奇数は、 $2n+1$ 、 $2n+3$ 、 $2n+5$ と表される。
 それらの和は、
 $(2n+1) + (2n+3) + (2n+5)$
 $= 2n+1 + 2n+3 + 2n+5$
 $= 6n+9$
 $= 3(2n+3)$
 $2n+3$ は中央の奇数だから、 $3(2n+3)$ は中央の奇数の3倍である。
 したがって、連続する3つの奇数の和は、中央の奇数の3倍である。

次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1) 説明1では、 $6n+9$ を $3(2n+3)$ と変形しています。このように変形するのは、次のことを示すためです。□①に当てはまる式と、□②に当てはまる数を書きなさい。

連続する3つの奇数 $2n+1$ 、 $2n+3$ 、 $2n+5$ の和が、中央の奇数を表す式である□①の□②倍であること。

■ 正答 ① $2n+3$ ② 3

9		正答率	無答率
(1)	宮崎	54.2%	7.7%
	全国	57.4%	9.5%

● 分析結果と課題
 $3(2n+3)$ を「中央の奇数の3倍である」ことを捉えることができなかったと考えられる。

■ 学習指導に当たって
 ・ 文字式を用いた説明を読み、式変形の目的を的確に捉えることができるようにする。

□ 説明すべき事柄「連続する3つの奇数の和は、中央の奇数の3倍である。」と照らし合わせて式変形の目的を説明する活動を取り入れることが考えられる。その際、 $6n+9$ が連続する3つの奇数の和であることや $3(2n+3)$ が $6n+9$ を変形したものであることに着目し、「なぜ $3 \times \square$ の形にするのか」、「何の3倍になっているのか」、「 $2n+3$ は何を表しているか」などを確認することが大切である。

※ 平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査 報告書 中学校数学 P58より

● 統合的・発展的に考察し、得られた数学的な結果を事象に即して解釈することができるかどうか。

■ 本問 9 の学習指導に当たって

数学の事象から問題を見だし、数学的な推論などによって問題を解決し、解決の過程や結果を振り返って、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察することができるようにすることが大切である。

例えば、本問 9 のように、連続する3つの奇数の和、連続する5つの奇数の和、連続する4つの奇数の和について、中央の数を用いることで連続する奇数の個数が奇数個であろうと、偶数個であろうとも、同じように成り立つ事柄を見だし、統合的に考察することが大切である。さらに、対象にする数を奇数にとどまらず整数にまで拡張して統合的・発展的に考察することも考えられる。

連続する奇数の和についてわかったこと

- 連続する3つの奇数の和は、中央の奇数の3倍である。
- 連続する4つの奇数の和は、中央の数の4倍である。
- 連続する5つの奇数の和は、中央の奇数の5倍である。

中央の数に着目すると次のようにまとめられる。

- 連続する3つの奇数の和は、中央の数の3倍である。
- 連続する4つの奇数の和は、中央の数の4倍である。
- 連続する5つの奇数の和は、中央の数の5倍である。

連続する奇数の和についてわかったことをまとめてみました。



※ 平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査 報告書 中学校数学 P63より

【中学校英語】

- まとまりのある英文を読んで、話のあらすじを理解することができるかどうかをみる問題には課題がある。

設問 6

⑥ 英語の授業で、身近なものを調べて発表することになりました。次の英文は、ある生徒が、100円ショップについて調べてまとめたものです。これを読んで、発表の始めに話の流れを示すスライドとして最も適切なものを、右の1から4までの中から1つ選びなさい。

We have many 100-yen shops (*hyakkin*) in our city. We can buy many kinds of things for 108 yen now. One of the biggest sellers is stationery. Many people buy kitchen items and cleaning items, too. We can also get food, toys, and even clothes.

There were some shops like *hyakkin* long before the first *hyakkin* shop opened. In the 1930s, Japan had “10-sen shops.” Everything in these shops was 10 sen. They were very popular. Their number went down during World War II. In the 1960s, some supermarkets or department stores had 100-yen corners or 100-yen events. In 1985, the first *hyakkin* opened in Aichi. In the 1990s, a lot of *hyakkin* opened in Japan. Today there are about 8,000 shops.

There are shops like *hyakkin* in many countries. For example, in the U.S., they have one-dollar shops. I was surprised that some of these shops sell medicine. We cannot buy medicine at *hyakkin* in Japan. The U.K. has one-pound shops. In the U.K., DIY is popular, so there are many items for DIY at one-pound shops. Many other countries also have shops like *hyakkin*.

(注) the biggest seller: 最も売れているもの stationery: 文房具
 item: 商品 1930s: 1930年代 (1960s, 1990sも同様)
 sen: 銭 (日本の古い通貨単位) World War II: 第二次世界大戦
 department store: デパート corner: コーナー
 pound: ポンド (イギリスの通貨単位)
 DIY: 日曜大工 (趣味で行う簡単な大工仕事)

1

100-yen Shops

(1) The number of shops

(2) History

(3) Popular items

2

100-yen Shops

(1) Popular items

(2) *Hyakkin* in the world

(3) The number of shops

3

100-yen Shops

(1) The number of shops

(2) *Hyakkin* in the world

(3) History

4

100-yen Shops

(1) Popular items

(2) History

(3) *Hyakkin* in the world

■ 正答 4

	4	正答率	無答率
(1)	宮崎	60.1%	0.3%
	全国	62.9%	0.4%
● 誤答例			
	1と回答	(14.8%)	
	2と解答	(16.4%)	
	3と解答	(8.3%)	



誤答について
 誤答例の1は、many 100-yen shopsという表現をとらえて、第1段落が「店舗数」に書かれた段落だと読み違えたり、誤答例の2は、World War IIという表現のWorldという語をとらえて、第2段落が「世界の100円ショップ」について書かれた段落であると読み違えたりするなど、一つ一つの段落に書かれている要旨が読み取ることができていないものと考えられる。

学習指導に当たって

日常的な話題に関する説明やエッセイ、物語などを読んで話のあらすじを読み取ることができるようにする。

○ 説明文やエッセイ、物語など、まとまりのある文章のあらすじを読み取る際には、文章全体を通して、段落相互の関係を考えながら読むことが大切である。指導に当たっては、読みやすい部分を手掛かりにしながら、読みづらい部分についても、推測して読み進めていくようにしたい。また、文章を読むことに慣れさせるためには、教科書や他の題材を数多く読ませることが必要である。

具体的な指導としては、以下のような活動が考えられる。

- ・ 文章全体や段落ごとにタイトルを付ける活動
- ・ 話の内容を数文の英語でまとめる活動
- ・ 説明文を読み、手順などを整理する活動
- ・ 物語を読み、起きた出来事を順に整理する活動

令和元年度(平成31年度) 全国学力・学習状況調査

宮崎県の調査結果

【9 児童生徒の生活習慣に関する概要】

義務教育課

◆ 児童生徒質問紙における「生活習慣」に関する主な項目の全国との比較

児童生徒質問紙における「生活習慣」に関する項目（「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」を肯定的な回答）について、本県と全国の状況を比較し、児童生徒の割合が全国平均を上回る主な質問を中心に示しています。

内 容	小学校			中学校		
	宮崎	全国	差	宮崎	全国	差
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	92.8	91.6	1.2	95.1	92.8	2.3
朝食を毎日食べていますか	95.4	95.3	0.1	94.5	93.1	1.4
将来の夢や目標を持っていますか	86.7	83.8	2.9	74.9	70.5	4.4
普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（1時間以上）	74.9	66.1	8.8	74.5	69.8	4.7
家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか	77.1	77.4	-0.3	79.1	76.4	2.7
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	73.8	71.5	2.3	51.9	50.4	1.5
今住んでいる地域の行事に参加していますか	70.2	68.0	2.2	53.8	50.6	3.2
地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか	54.9	54.5	0.4	43.2	39.4	3.8
学校のきまりを守っていますか	93.0	92.3	0.7	96.6	96.2	0.4
新聞を読んでいますか（週に1回以上）	18.2	19.0	-0.8	11.8	12.7	-0.9
学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）（1時間以上）	20.3	18.3	2.0	13.3	12.4	0.9

◆ 児童質問紙の結果概要（全国平均との比較）

生活については、「毎日、同じくらいの時刻に起きている」「朝食を毎日食べている」など、多くの項目で全国平均を上回っており、望ましい生活習慣を身に付けている児童生徒の割合が高い。「週に1回以上、新聞を読んでいる」と回答している小・中学生の割合は、全国平均を下回っているが、中学校では昨年度に比べて増加傾向にある。また、「1日当たり1時間以上読書をしている」と回答している割合も増加傾向にあり、新聞や読書の習慣に関する項目について改善が見られる。

学習状況調査の解答時間については、小学校の国語以外では、全国平均を下回っており、今後、速く正確に読み取る指導を組織的に取り組んでいく必要がある。